

福祉教育のご案内

住み慣れた街で安心して暮らしていくために…

磯子区社会福祉協議会では、誰もが幸せに暮らせるまちをみんなでめざし、福祉教育を通して学校・地域・企業の福祉意識を育むための機会づくりに取り組んでいます。

福祉教育をお考えの折は、磯子区社会福祉協議会にご相談ください。

福祉教育プログラム実施のコーディネート



福祉意識を深めるとともに、相手のことを思いやり、自ら考え、行動する力を育みます。

<テーマ(例)>

- ・障がい（視覚・聴覚・知的・発達・身体等）について知りたい。当事者の方の話が聴きたい
- ・手話、点字について学びたい
- ・パラリンピック、パラスポーツで活躍する選手の話が聴きたい
- ・高齢者のこと、認知症について学びたい
- ・車いすの操作方法について学びたい
- ・福祉の仕事について学びたい 等

プログラムの様子



車いす

高齢者疑似体験セット



ポッチャ



福祉機材の貸出



区社協では福祉機材の貸出を行っています。機材のみの貸出も可能です。

- ・車いす、点字盤、白杖、高齢者疑似体験セット、ポッチャ 等

<お問合せ・相談窓口>

社会福祉法人 横浜市磯子区社会福祉協議会

住所 〒235-0016 磯子区磯子 3-1-41 磯子センター5階

電話 751-0739 FAX 751-8608

E-mail info@isoshakyo.com

※内容によっては講師謝金等が必要な場合もあります。ご相談ください。

プログラムの具体例については、裏面をご覧ください 

福祉プログラムの具体例

福祉教育は地域ケアプラザや地域の福祉活動団体の皆さんと連携して行っています。区社協では講師の手配や協力者のコーディネートをお手伝いさせていただきます。

視覚誘導講座

講師：磯子区視覚障害者福祉協会

前半に視覚障害者の生活の様子を話します。その後、視覚障害者と歩く時のガイドの仕方をレクチャーし、生徒の皆さんに歩いてもらいます。休憩を挟んで、障害を乗り越えたきっかけや言葉の力を紹介。また、グアムマラソンを日本テレビが同行取材した模様のDVDを見ます。最後は質問タイムを設け答えます。

手話講座

講師：磯子区聴力障害者福祉協会
ふれあいサークル「かめ」
手話サークル「海」

前半は、全体で聴力障害について、日常生活の工夫や道具などを紹介します。後半は各グループに分かれて、実際に手話を体験します。手話で自己紹介もできるようになります。

車いす講座

講師：NPO 法人横浜移動サービス協議会・ウェーブ磯子他

車いすの生活で工夫していること、困ることなどを丁寧に説明します。

また、車いすの使い方、介助の仕方を学んだ後、実際に車いすで移動してみます。

ボッチャ講座

講師：IBC ボッチャクラブ

中途障害について講師の方々からお話を聞いた後、一緒にボッチャを体験します。

ボッチャは、性別・年齢を問わず、みんなで楽しめるスポーツです。クラブの見学も可能ですので、ご相談ください。

盲導犬講座

講師：神奈川ハーネスの会

当事者講師と盲導犬による日々の生活の様子・便利グッズなどを紹介します。

「優しい心と無関心」など、障害者とのコミュニケーションについてもお話しいたきます。

認知症サポーター養成講座・ 高齢者疑似体験

講師：地域ケアプラザ

認知症サポーター養成講座では、高齢化率の状況、認知症の正しい知識を知ること、認知症の方の気持ちや対応の仕方などを考えます。

高齢者疑似体験では、ゴーグルやおもりなどを着用し、高齢者が感じている動きにくさや見えにくさ、聞こえにくさ、不自由さ、気持ちなどを体験します。

感覚のちがいを知ろう

講師：NPO 法人 夢コミネット いそごキャラバン

障害の有無に関わらず、自分の中では当たり前になっている感覚も、人とは異なることが多くあります。

寸劇やクイズ、体験を通して、それぞれの感覚の違いについて「ちがいを知ること」で互いを認めあえる関係づくりにつながります。

(人権・福祉教育)

ご希望に応じて、上記以外にもプログラムの内容や講師のコーディネートを行います。ご相談ください。